

# 平成25年度第一回 福祉医療費助成制度に関する研究会 議事要旨

1. 日 時 平成25年10月3日(木) 13:00～14:00

2. 場 所 大阪府庁別館8階 共用会議室1

3. 研究会メンバー
- 大阪府市長会を代表する者
    - 箕面市 市民部長
    - 四條畷市 健康福祉部長(担当次長が代理出席)
    - 高槻市 健康福祉部長
    - 大阪市 生活福祉部部長
    - 門真市 健康福祉部長
    - 八尾市 健康福祉部部長
    - 高石市 保健福祉部長
  - 大阪府町村長会を代表する者
    - 島本町 民生部長
    - 熊取町 健康福祉部統括理事
    - 太子町 健康医療室長(担当主幹が代理出席)
  - 大阪府
    - 福祉部国民健康保険課長

## 4. 議事概要

第一回の研究会開催に当たって、大阪府福祉部国民健康保険課長よりあいさつがあった。

### (1) 座長の選出について

出席者の互選により、箕面市市民部長を座長に選任した。

### (2) 研究会の進め方について

事務局から、資料2により平成22年度に決定した「検討の進め方について」を再確認した。

### (3) 福祉医療費助成制度を取り巻く情勢及び今後の検討スケジュールについて

事務局から、資料3に沿って福祉医療費助成制度を取り巻く情勢について説明し、続いて資料4に沿って平成25年度における研究会・WGの開催予定案について説明し、その後、意見交換を行い、原案どおり決定した。

### (4) 上記(3)に係る委員からの発言

- ・資料3における項目のうち医療保険制度改革関係、障がい者関係と消費税関係については、大体的方向性は見えて来ているが、マイナンバー関係については、まだまだ不明な点が多い。特に総合合算制度については、マイナンバー制度施行後も検討材料が残る状況かと思う。
- ・こういう国の動向の中で、資料3にあるような考え方やスケジュールで進めざるを得ないのではないか。
- ・今後の方向性を考えていく中では、いろいろ研究を深めていくべきだ。
- ・平成26年度のスケジュールは、現時点での参考表示としているが、26年度中の見直し実行は困難ということで、26年度の検討を踏まえて27年度以降にどういった取組をして行くのかということは今後検討するということ。
- ・大きな方向性は見えつつあるが、内容によっては市町村の予算等に大きく影響するので、時間を掛けていくべき。

以上